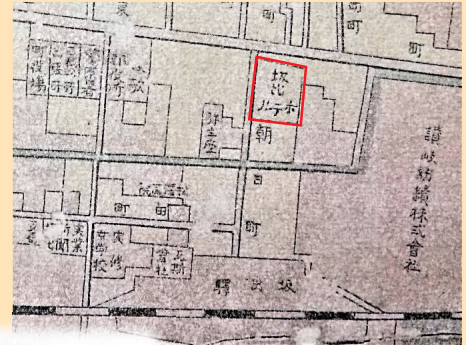




さかいで発見! vol.6 「昔むかしの坂出駅前」

最初の坂出駅は明治30年(1897)2月の讃岐鉄道(高松-丸亀間)開通より約3ヵ月前に完成しましたが、それ以前の明治13年(1880)『県衛生木ユウカリを、坂出駅前通り東側・坂出ホテル裏などに植樹』(坂出市史年表より原文のまま)と記載されています。明治13年というと坂出がまだ「村」だった頃(町制施行は明治23年)、既にホテルがあったとは驚きです。残念ながら建物の写真は見つかりませんが、所在地等を示す資料は幾つかあります。

坂出市史年表に坂出ホテルの名はその後2度出てくるほか、大正3年発行の坂出町地図にその名があります。讃岐紡績(現イオン坂出)や町役場、警察署の位置等から、今の元町商店街と駅前通りが交わる交差点の東側にあったと思われます。また、明治末期が大正時代に坂出駅前で撮影された写真の中に、坂出ホテルに植樹されたユウカリの木と思われる高木が写っています。極め付けは大正3年度の金山村予算書が入った封筒に押印されたスタンプで、右から左へ「阪出ホテル、會石御料理、仕出し」の文字が見て取れます。



サプライズをもう一つ。左の写真(絵葉書)は宇多津町で偶然見つけたもので、下に「讃岐坂出驛庭園」、消印には「明治44年7.23庭園竣成記念」と書かれています。年表等に記述はなく、今のところ、その存在を示すものはこの写真だけですが、私たちが見た事もない当時の風景や人々の暮らし振りを伺い知る上の貴重な資料です。

資料提供: 鎌田共済会、津谷一雄氏(宇多津町)、高都誠二氏

編集後記

今年は、皇太子さまが新天皇陛下として5月に即位されます。まだ、新年号はわかっていませんが、国民の1人としてお祝いしたいと思います。昭和生まれのわれわれは、明治・大正・昭和と生きてきた先人を、「すごいなあ」と思っていますが、われわれも昭和・平成・新年号と生きていくわけです。時代の流れと、月日が経つのが早く感じられると、改めて思う今日この頃です。(東原)



まろは平安生まれでおじやるよ

広報広聴委員会 委員長……植原 泰 副委員長……若杉輝久
委員……東原 章 鳥飼年幸 村井孝彦
出田泰三 松成国宏 楠井常夫

表紙の写真

上: 「晴天の下で」

坂出第一高等学校 1年 井戸 友平さん

よく晴れた日のグラウンドで、元気いっぱい
にスポーツする姿を撮影しました。

下: 「キラキラ」

坂出第一高等学校 1年 山崎 有里さん

キラキラしているツリーがとても綺麗でした。

次回開催は・・・

3月定例会を3月上旬に開催予定です。

